

堀野正雄 一九三二

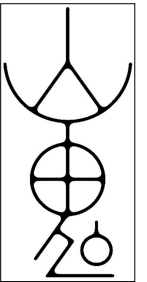
新興写真に始まる

—写真集の時代より

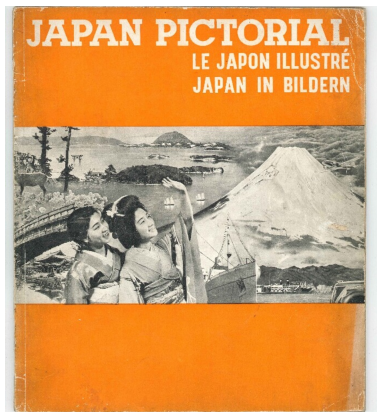
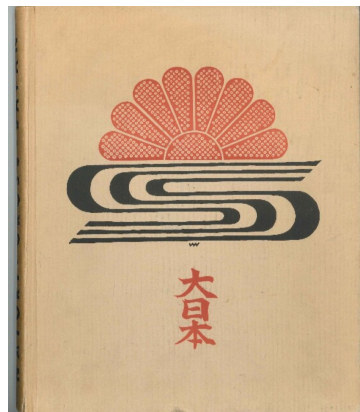
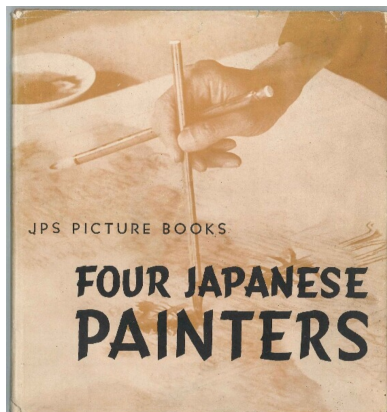
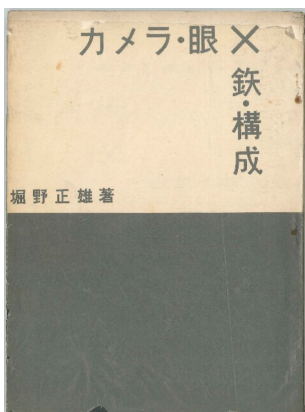
2017年 4月8日(土)～5月29日(月)

金曜～月曜のみ開廊 10:00-17:00 入場無料

■山鬼文庫■ <http://www.sankibunko.com/>
〒920-0923金沢市桜町5-27 tel.076-254-6596



堀野正雄『カメラ・眼×鉄・構成』1932、『4人の日本画家』1939、名取洋之助『大日本』1940、『ジャパニクピクトリアル』



写真の世界では、1930年代に新即物主義とよばれる無演出の写真がカメラマンの心をとらえました。これは日本では新興写真と呼ばれ、彼らは優れたグラフ構成による写真集を自己表現の究極の場と考え、デザイナーとのコラボレーションによって優れた写真作品集を発表しました。本展ではこの時期を代表する堀野正雄(『カメラ・眼×鉄・構成』)、木村伊兵衛(『4人の日本画家』)、名取洋之助(『大日本』)らの業績をご紹介します。併せて、こうした次代に開かれた写真表現の志を引き継ぎ、金沢の地で制作を続けたカメラマン折橋正一(1930--)の足跡をまとめてをご紹介します。折橋はこれまで個展を開いたことがなく、彼の業績の全体像が初めて明らかになります。また、会期中に金子隆一(写真史家)のレクチャーと折橋正一へのインタビューを行います。金沢における写真表現の歩みを紐解く機会にしたいと存じます。奮ってご参加ください。



4月23日(日) 午後1時より
山鬼文庫にて
入場無料

金子隆一レクチャー

写真史家、元東京都写真美術館学芸員
武蔵野美術大学非常勤講師

1948年東京都生まれ。立正大学文学部地理学科卒業。
1970年代より、写真集・写真雑誌を中心にして様々な写真資料の収集を行い、日本写真史の研究を始める。
1981年より、『カメラ毎日』をはじめとして様々な雑誌に評論の寄稿を始める。
1988年より、東京都写真美術館の専門調査員として、展覧会企画、作品収集などを行う。(2014年まで)

共著として『The History of Japanese Photography』、
『日本写真集史1956-1985』、編著として『植田正治：
私の写真作法』など

5月20日(土) 午後1時より
山鬼文庫にて
入場無料

折橋正一インタビュー

1930年金沢市生まれ
1949年石川県立工芸高校卒業
同年金沢市瓦斯水度事業部(～1989年)
1951年金沢ディスククラブ創立に参加
1967年研展初出品
1969年第54回研展大賞
1974年シュピーゲル展次賞
1975年ロココールクラブ誌 林忠彦賞
1976年全日本写真連盟石川県本部委員長
同年日本海造型会議創立に参加
1984年北國写真連盟理事長

2003年『写真随筆 いつかきた道』

